

東京大学大学院医学系研究科

薬剤疫学講座 公開講義

## 大規模データベースと薬剤疫学の実践：教育ガイド

2011年10月15日(土)、16日(日) 2日間コース

15日 10時-18時 16日 9時-17時

東京大学医学部附属病院 管理・研究棟 2階 第一会議室

講師：瀬戸口 聡子 准教授

### 講義と演習

●薬剤疫学のデザインと解析の基礎

●データベース研究におけるデータ処理のプロセスと解析

解析用データ・セット作成に至るステップと考え方をすることを目的とします

(SASを用いた実例とともに、SASが使えない環境下での実施例もご紹介します)

日本におけるレセプトデータベースの「試行的」二次利用が始まっています。世界最大規模の日本のレセプトデータベースから、真に役立つ情報が発信されるのか？各国が注視しています。本公開講義は米国でデータベース研究の豊富な経験をもつ瀬戸口聡子准教授が、大規模データベースを用いた薬剤疫学研究の実践を中心に薬剤疫学研究のデザインと解析を二日間の集中連続講義で解説・指導するものです。90分8コマで薬剤疫学の講義を構成するための有用なカリキュラムや指導のポイント、教材も紹介いたします。

**受講対象：薬科大学・薬学部、病院等の教職員、学生**

製薬企業等の方は、別途ご相談ください

**参加費：教職員 8,000円 学生 4,000円 定員：30名**

プログラム等の詳細はホームページ( <http://www.dsrujp.org/seminar.html> )をご覧ください

**申込書にご記入のうえ、E-mail または Fax にて下記事務局宛お送りください**

**主催：東京大学大学院医学系研究科薬剤疫学講座**

東京都文京区本郷 7-3-1

**後援：日本薬剤疫学会**

事務局(申込み・問合せ先)：NPO 日本医薬品安全性研究ユニット

電話 03-5297-5860 FAX 03-5297-5890

E-mail seminar@dsrujp.org